

戦没者慰霊祭 ～セブ観音～

8月15日、セブ島 BUSAY、マルコポーロプラザ敷地内にありますセブ観音にて、戦後69年戦没者慰霊祭が開催されました。

まず最初にフィリピン国及び日本国の国歌斉唱が行なわれ、大竹領事による追悼の辞、セブ日本人会三村会長から会長挨拶を頂きました。

その後、参列者全員にて焼香と献花が行なわれ、岡様(元日本人会会長)の閉会の辞にて戦没者慰霊祭が執り行われました。慰霊祭後は追悼慰霊として、セブ商工会議所の八木会頭による献杯、慰霊歓談が行なわれました。



さきの第二次大戦に於てセブ島及びその周辺地域で戦死されたすべての方々の御冥福と永遠の平和を祈ってここセブ観音を建立する

このセブにて慰霊祭が行なわれた理由として、セブ・レイテ島を中心としたビサヤ地域が最大の戦火となり、フィリピン全土にて日本人約50万人、フィリピン人100万人以上が犠牲となったこと、又この地にセブ観音が建立された理由としては、この地より眼下にて見える場所に旧日本軍の飛行場があり、最後の特攻隊機が離陸後まもなく撃墜され墜落した場所であるためと言われております。以後セブ市を奪われた日本軍はこの場所より北の山岳部へ逃げ込み終戦までゲリラ戦を行なったということです。

このセブ周辺地域だけでなく、先の大戦にてお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げます。



セブ観音正面

この地で亡くなられた方約3千人のお名前が石碑土台内に刻まれているとのことです。



ご焼香・献花時の様子



セブ観音から望む風景
この眼下が旧日本軍飛行場跡地